

## 文化庁移転協議会幹事会（第4回）議事要旨

日時：平成30年1月17日(水)10:30～11:00  
場所：旧文部省庁舎2階文化庁特別会議室  
文化庁地域文化創生本部3階会議室

### 出席者

中岡文化庁次長,川上内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局地方創生総括官補,山崎内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長,山田文部科学省文部科学戦略官（併）内閣官房（文化庁移転等担当）,岡村文部科学省大臣官房政策課長,杉浦文化庁長官官房政策課長,築島内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局参事官,山内京都府副知事,岡田京都市副市長,加藤内閣官房内閣人事局内閣参事官（オブザーバー）,中島財務省主計局主計官（オブザーバー）,井口財務省理財局国有財産企画課長（オブザーバー）

### 議事

#### （1）新・文化庁の組織体制及び本格移転庁舎について

文化庁（杉浦政策課長）から,新・文化庁の組織体制について,今後の京都移転を見据え,これまでの文化庁・文化財部の2部制を廃止し,縦割り組織からの脱却を目指すこと,文部科学省から博物館及び学校における芸術教育業務の移管を進め,また他省庁からの職員配置などにより,新・文化庁に向けた機能強化を図ることなどについて説明があった。

次いで,京都府（山内副知事）から,本格移転庁舎について,今年度内の庁舎整備の基本計画策定に向けた作業状況の報告があり,庁舎の入居者となる文化庁（山田文部科学戦略官）から,庁舎整備に当たっては,平成28年8月及び平成29年7月の文化庁移転協議会取りまとめに掲げられた条件や考え方等を踏まえてほしいとの要望があった。

（主な意見）

- 新・文化庁の組織体制に必要な庁舎面積のうち京都府警察本部本館で不足する部分は,府としての課題なども踏まえ,具体的な別館建設等のあり様について検討を深めていきたい。負担の内容についても協議を進めていきたいので,必要な設備の内容等について,協議,調整をさせていただきたい。

#### （2）平成30年度文化庁予算案について

文化庁（杉浦政策課長）から,平成30年度文化庁予算（案）について,説明があった。また,文化芸術推進基本計画の策定及び文化財保護法等の改正に向けた検討状況の報告があった。

（主な意見）

- 情報共有しながら,共に前に進めていきたい。文化芸術基本法が成立し,新しい取組を精力的に展開していただき,文化庁予算案では新しい文化行政の展開への意気込みが示され,組織についても増員が図られたことを歓迎する。関係者の尽力に感謝・敬意を表したい。文化庁の受け入れに向けた京都関係者の協議組織があるので,地域を挙げて支援していくためにも,そこで本日のような説明をいただきたい。一方で,庁舎整備の検討を加速化する必要があり,適切に対応していきたい。また,具体的な費用負担についても,引き続きスピード感をもって協議していきたい。

- 文化庁の受入環境の整備については、府・市・経済界が連携し、同一步調で進めていきたい。また、本格移転までに、地域文化創生本部が、多くの府民、市民、経済界、各団体等とより良い人間関係を築くことが重要であり、京都の中で更に親しみをもってもらえるよう我々としても引き続き協力していきたい。

### **(3) その他**

川上総括官補から、まち・ひと・しごと創生本部事務局としても引き続きバックアップすること、京都府、京都市には、庁舎に係る諸々の協力、新たな文化芸術基本法を受けた文化行政の展開、さらには文化庁への人的協力、職員の住環境の確保等、引き続き協力をお願いしたい旨の発言があった。

(以上)